

困難な子どもと触れ合うことで見える

子どもの自殺対策

日本自殺総合対策学会では、自殺対策のみならず周辺領域も含めて、広く有益となる知見を紹介し、実践的な自殺対策等の活動に活かしてもらうことを目的として講演会を行っています。

子どもの自殺対策が喫緊の問題となっています。

この問題を考える上で、子どもが抱える孤独感や社会的孤立、家族環境の変化などの課題を包括的に捉えることが重要です。

そこで今回の講演会では、貧困などの日本の子どもたちが置かれた厳しい環境に目を向け、すべての子どもが夢や希望を持てる社会を目指して活動を続けてきた認定NPO法人キッズドア理事長の渡辺由美子氏を講師としてお招きしました。

「家族」が変容しその力に限界がある中で、子どもたちの心を守り、自殺リスクを未然に防ぐための多面的かつ包括的なアプローチについて学び、子どもの自殺対策の課題解決の糸口を探ります。



講演者

渡辺 由美子 氏

(認定NPO法人キッズドア 理事長)

子どもの貧困と向き合う中で、
死を口にする子どもと度々出会います。
アンケートにも死が溢れます。
今困っている子どもに具体的な手を
差し伸べる方法を考えていきましょう。

日 時

2025年6月10日 (火)

13:00-15:00

開催方法

Zoomウェビナーによるオンライン開催

対 象

会員 (無料)、非会員 (無料)

※どなたでもご参加いただけます。ただし動画の後日共有は会員のみ限定です。

申込方法

学会Webサイト (URLまたはQRコード) よりお申込みください。
https://jscsc.smoozy.atlas.jp/ja/lecture_2025_1

申込期限

2025年6月3日 (火) まで

コメンテーター 岡 檀 氏

(統計数理研究所 医療健康データ
科学研究センター 特任教授)



… 渡辺 由美子 氏 プロフィール ……………

- 千葉大学工学部出身。大手百貨店、出版社を経て、フリーランスのマーケティングプランナーとして活躍。2000年から2001年にかけて、家族でイギリスに移住し、「社会全体で子どもを育てる」ことを体験する。
- 2007年任意団体キッズドアを立ち上げる。2009年内閣府の認証を受け、特定非営利活動法人キッズドアを設立。「親の収入格差のせいで教育格差が生じてはならない!」との思いから、経済的に困難な子どもたちが無理なく進学できるよう、日本の全ての子どもが夢と希望を持てる社会を目指し、子どもの貧困問題解決に向けて活動を広げている。
- こども家庭庁こども家庭審議会「こどもの貧困対策・ひとり親家庭支援部会」臨時委員、「子供の未来応援国民運動」発起人、厚生労働省「生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会」構成員、全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表幹事

主催：日本自殺総合対策学会

共催：情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター

本講演会は、本学会もその創設を支援した「行政・NPOの孤立・孤独対策現場知を支援する総合知に基づく学術体制構築 (JST-RISTEXの社会技術研究開発事業、研究代表者：岡檀)」との共催で行われます。

後援：厚生労働省、厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター